平成 　30年　　2月　　27日

研修報告書

氏名：曽根原　弘樹

所属：千葉大学医学部附属病院産婦人科

研修期間：平成29年4月1日　～　平成30年3月31日

研修場所：千葉大学医学部附属病院遺伝子診療部

受講動機：産婦人科日常診療の過程、またこれまでの研究テーマを通じて遺伝性疾患や腫瘍に興味を持ち、本プログラムを通じて遺伝医療に関する知識・経験を深めたいと考えたから。

研修内容：

・遺伝カウンセリングの陪席（NIPT, 家族性腫瘍等）

・産婦人科外来で経験した症例の遺伝カウンセリング実施

・染色体異常も考慮される不妊カウンセリングの実施

・次世代シーケンサーを用いたミトコンドリア病解析に関する研究

・「千葉大ゲノム医療の会」の企画・運営（現在6回開催。不定期実施）

・各種勉強会・講習会への参加

研修成果：

　本プログラムを通して各遺伝性疾患に関する理解を深めることができた。実際の患者とのコミュニケーションにより身体的側面だけではなく、心理的側面に関する配慮を学ぶことができた。技術的な点では次世代シーケンサー運用に関する知見を深め、Wet, Dry解析について概ね学ぶことができた。学内で勉強会を主催・運営することにより、ゲノム医療に対する理解が院内、学内において高まり参加者との意見交換や参加者同士のネットワークも広がりつつある。

その他（感想・要望・反省点、等）：

　産婦人科診療、博士課程研究を行いながらのインテンシブコースへの参加だったため、十分な時間を確保できたとは言い難い。実際、参加したかったカウンセリングや勉強会も数多く存在した。専攻医となった際にはこれらの点を改善し、より積極的な参加を心がける。